

2025年度 第1回須坂市環境審議会 議事録（要旨）

【日時】 2025年5月30日(金) 午後2時～午後3時20分

【場所】 須坂市役所 本庁舎305会議室

【参加者】

〔出席委員〕：山岸和人、久保田武、竹前美枝子、師岡京子、関谷敏、児玉慎一郎、早川隆一、杉本淳、山下浩史、穂刈哲明、杉田恵美子、河原輝久

〔欠席委員〕：中村正、山下徹也、中屋眞司、飯尾昭一郎、西原秀次

〔事務局〕：鈴木市民環境部長、田幸生活環境課長、新井清掃センター所長、荒井課長補佐兼環境政策係長、元田課長補佐兼エコパーク振興係長、中澤清掃センター所長補佐、森井環境創出係長、森廃棄物対策係長、中西主査、業田事務員

【配布資料】

- ・第三次須坂市環境基本計画（本編・資料編）※新任委員のみ配布
- ・須坂市一般廃棄物処理基本計画
- ・資料1 須坂市環境審議会にかかる生活環境課所管施策
- ・資料2 第三次須坂市環境行動計画施策一覧表
- ・資料3 地下水等高線、地下水位測定結果
- ・資料4 2023年度須坂市市民総合意識調査報告書（抜粋）

1 開会（事務局：田幸課長）

2 あいさつ（事務局：鈴木部長）

3 委員の紹介及び職員の自己紹介（進行：田幸課長）

4 諮問 久保田会長・市長(代理 鈴木部長)

5 議事（進行：久保田会長）

(1) 須坂市環境審議会の任務等について（事務局：荒井補佐）

事務局より説明。質疑等無し。

(2) 須坂市の環境行政について（事務局：各係長）

資料1に基づき、事務局より説明。これに対し委員より次のような意見があった。

委員：今年開業予定のイオンモールによる地下水利用の影響はあるか。

事務局：現状、地下水利用は無いが、利用についての相談はあった。

委員：市全体の地下水年間利用量について、1,000万m³と定めた根拠は何か。

事務局：年間涵養量1,624万m³と、直近の最大利用実績1,250万m³等の情報を勘案し当面の上限として設定したが、利用増での変更も想定している。

(3) 須坂市環境行動計画について（事務局：各係長）

資料2に基づき、事務局より説明。質疑等無し。

(4) 地下水位の測定状況について（事務局：荒井補佐）

資料3に基づき事務局より説明。これに対し委員より次のような意見があった。

委員：米持町の測定結果が条例改正後2～3m上昇している要因は何か。また、米持町と南原町は季節変動以外の変化が読み取れるが要因は何か。

事務局：米持町については、付近の工場による影響を受けている印象がある。

季節変動以外の要因については、場所ごとの事情があると考えられるが明確な原因は不明である。

(5) 須坂市一般廃棄物処理基本計画中間見直しについて（事務局：森係長）

事務局より説明。これに対し委員より次のような意見があった。

委員：環境行動計画に記載されている内容も含め見直しが実施されるのか。

事務局：その通りである。

委員：環境行動計画の中には項目のみで目標値が設定されていないものがある。

このようなものについては、見直しで数値設定がされるのか、別の目標設定がされるのかどのような扱いとなるのか。

事務局：環境行動計画には目標値が設定されているものと取組自体を目標としたものがある。目標値が無いものについては取組を目標として設定した項目と考えていただきたい。

(6) その他

特に無し。

6 その他

課長より、会議開始時間(14:00)について希望を聞く 意見無し。

7 閉会